



大学における通訳・翻訳教育を考える ——その理論と実践の現場から

通訳や翻訳は特殊な技能であり、高度な語学力が要求されます。ただ外国語が「できる」だけではプロになれるわけではありません。では、この技能・職業に昨今の大学教育はどう関与しているのでしょうか。

本学にも通訳や翻訳の講座はいくつかあります。それは純粋な訓練なのでしょう。通常の語学教育との違いは？ 目的はプロの養成でしょうか。あるいは「語学力」のアップや「教養教育」なのでしょう。受講する学生の態度と到達状況は？ 小・中・高校の教育との関連や応用は？

今年で8回目を数える本ラボラトリーの年次セミナーでは、理論と現場に通じた専門家を招き、これらの問題を考えます。語学に限らず、教育全般に関心を持たれる多くの方々のお来場をお待ちしています。

外国語ラボラトリー所長 宮澤 淳一
本企画コーディネーター 稲生 衣代

Aoyama Gakuin since 1874

大学での通訳教育教材はどうあるべきか

本学文学部英米文学科教授 水野 的

コミュニケーションのための気づきを促す通訳教育

青山学院大学、東京外国語大学ほか非常勤講師 新崎 隆子

ハコ切りから上映会開催まで

——字幕作りを軸としたプロジェクト教育「映像翻訳ラボ」

所長・本学総合文化政策学部教授 宮澤 淳一

実践報告 CALL教室で行う英日翻訳の授業

青山学院大学、上智大学ほか非常勤講師 香取 芳和

発表者4名によるディスカッション＋懇談会

日時：2016年10月1日(土)
13:30～17:00 (受付開始13:00)

場所：青山学院大学 青山キャンパス15号館
(ガウチャー・メモリアル・ホール)

6階 特設会場

対象：小・中・高・大学教員、学生・院生、専門学校生、教育関係者

参加方法：事前申し込み制(参加費無料)

主催：青山学院大学附置外国語ラボラトリー

協力：青山学院大学総合文化政策学部フェアトレード・ラボ(森島豊研究室)

情報の更新はウェブサイトでお知らせします <http://www.agufla.aoyama.ac.jp/>

申込方法 (参加費無料)

下記事項を明記のうえ、e-mail か FAX にて、
9月23日(金)までにお申し込みください。

申込先：青山学院大学附置 外国語ラボラトリー

e-mail : flweb@aoyamagakuin.jp

(エフ エル エル ダブルユー イー ビー @ ~)

FAX : 03-3409-1804

- ①メールの件名欄：公開セミナー ②氏名(フリガナも)
③所属 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥e-mailアドレス

Program

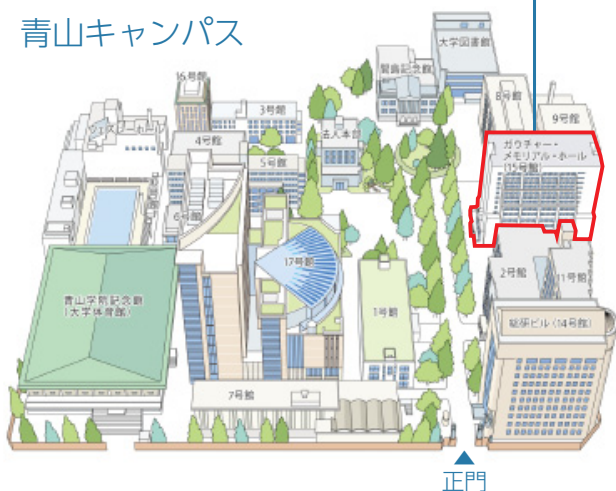
13:00-13:30	受付	司会：本学文学部英米文学科准教授 稲生 衣代
13:30-13:35	開会の挨拶	外国語ラボラトリー所長 宮澤 淳一
13:35-14:05	発表1：大学での通訳教育教材はどうあるべきか	本学文学部英米文学科教授 水野 的
14:05-14:35	発表2：コミュニケーションのための気づきを促す通訳教育	青山学院大学、東京外国語大学ほか非常勤講師 新崎 隆子
14:35-14:50	休憩 フェアトレード・ラボ (森島豊研究室)によるコーヒー・紅茶のサービス	
14:50-15:20	発表3：ハコ切りから上映会開催まで ——字幕作りを軸としたプロジェクト教育「映像翻訳ラボ」	外国語ラボラトリー所長 (本学総合文化政策学部教授) 宮澤 淳一
15:20-15:50	発表4：実践報告 CALL 教室で行う英日翻訳の授業	青山学院大学、上智大学ほか非常勤講師 香取 芳和
15:50-16:20	発表者4名によるディスカッション	
16:20-17:00	発表者との懇談会 フェアトレード・ラボ (森島豊研究室)によるコーヒー・紅茶のサービス	

青山学院大学 青山キャンパス 15号館
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

- JR山手線、東急線、京王井の頭線
「渋谷」駅宮益坂方面の出口より徒歩約10分
- 地下鉄「表参道」駅B1出口より徒歩約5分

15号館 (ガウチャー・メモリアル・ホール) 6階

青山キャンパス



Profile

水野 的 (みずの あきら)

青山学院大学文学部英米文学科教授。日本通訳翻訳学会会長。1980年代末より放送通訳・会議通訳に携る。専門は通訳研究と翻訳研究。著書に『同時通訳の理論－認知的制約と訳出方略』（朝日出版社）、共編著に『日本の翻訳論－アンソロジーと解題』（法政大学出版局）。

宮澤 淳一 (みやざわ じゅんいち)

青山学院大学総合文化政策学部教授、外国語ラボラトリー所長。博士 (学術、東京大学)。2010年度より実習授業「映像翻訳を通じて世界と関わる」(通称「映像翻訳ラボ」)を開講・担当する(指導協力：日本映像翻訳アカデミー)。以来、UNHCR難民映画祭等で公開された「ラボ」作成の字幕による映画は19本を数える。

新崎 隆子 (しんざき りゅうこ)

公立高校の英語教員を務めたのち、国際会議の同時通訳やNHK放送通訳を手掛ける。青山学院大学大学院国際政治経済学研究科にて博士号(国際コミュニケーション)を取得。青山学院大学、東京外国語大学、玉川大学で非常勤講師を務める。著書に『通訳席から世界が見える』(筑摩書房)、共著に『英語スピーキング・クリニック』(研究社)などがある。

香取 芳和 (かとり よしかず)

青山学院大学、上智大学非常勤講師。英日・日英翻訳者。NGO「国境なき医師団」の活動報告、米国省発刊のeJournal USA、英ブリティッシュ・カウンシルの教育機関向け諸文書などの翻訳に携わってきた。2010年からNHK「ニュースで英会話」オンラインで英文解説と日本語訳を執筆中。